

# まちづくり

議会だより

No. 187

若手経営者が求めるまちづくり.....2

まちのお金はこう使います(一般会計予算).....4

主な条例の制定.....6

ここをどうする!?(8人が一般質問).....9



特集

意見交換会

第一回 商工会青年部

若手経営者が  
求める  
まちづくり

町内で活躍しておられる方々との意見交換会を行いました。

第1回は篠栗町商工会の若手経営者の皆さんです。

仕事を通しての地域活動、地元に対する熱い思いを語っていただきました。



篠栗町商工会キャラクター「くりみん」

青年部の年齢と部員数は

●40歳まで、現在18名です。

どんな活動をしていますか

●隔月に定例会を開き、情報を共有し、それぞれが事業に結び付けています。

お互いが知り合うことにより、事業の幅が広がり、メンバーがバリバリ仕事をして業績を上

げれば、周りも活性化し町のためになると思います。

●カブトの森にこいのぼりを泳がせるこいのぼり事業、篠栗町電話帳の発刊・配付などを継続してやっています。

青年部で「くりみん」を立ち上げて活動しています。行政もさらに活用してもらえたら、もっと地域のPRにもなるのではないのでしょうか。

しごとに対する思いは

●管工事業で社員10名のうち8名が町内在住、その家族を含めると40人になります。仕事をやればやるほど税金をたくさん納められるし、社員も良い暮らしができる。そういう思いで積極的に町内の方を雇用しています。

●八百屋をしながら学校給食会で地産地消を進めていますが、町内産野菜は、かなり不足しています。営農誘致などをして、体制を整えれば活性化すると思います。

●建築業を営んでいます。篠栗は交通の便や環境もよく、住みたいという人はたくさんいますが、篠栗地区になると調整区域の規制が多く家を建てられない。



● 旅館業では、団体客も含めかなり減っています。旅館の強みは長期滞在ができ、大人数で宿泊できるというところがあるので、スポーツ団体等の合宿などを推進できればと思います。

### まちづくりに関心している人は

● 篠栗町商工会に限らず、町をよくしたいという団体がいくつもあります。それぞれ同じ方向を向いていますが、うまくコラボしていません。そのところを改善すればよいと思います。

● 子どもが増えなければ町の力は上がらない。その子どもたちが「篠栗で仕事をしたい、親の後を継ぎたい」と思えるように、自分たちの仕事に誇りを持って、今やっている仕事を見せていけるような場づくりやイベントを考えて、ずっと篠栗に住みたいと思うようなまちづくりをしていきたい。

● 森林セラピーも八十八か所も意外と町の人知らないと思う。町民にもっとアピールしてはいかがでしょうか。

● 現在、国の施策には主に創業、雇用の創出、事業の継承などが中小企業庁などにつたわれています。

● 事業を継承していくためには、どうしても資金が必要になります。町でも、さまざまな助成を考えてもらえたらと思います。

### 篠栗町都市計画マスタープランをどう思いますか

● われわれも、マスタープランをよく把握して町のために働かなければならない。そのためにも議員に気軽に相談できる関係をお願いしたいと思います。

# 138万円

## 平成28年度一般会計予算 前年比 3452万円(0.4%)増

(※)増額の主な要因は、篠栗北地区産業団地整備事業特別会計への繰出金の新設等によるもの。

3月3日から16日まで、14日間の会期で開催しました。  
総務建設・文教厚生各常任委員会および予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算案、28年当初予算案など計19議案を審査しました。また最終日の本会議にて、すべての議案が原案のとおり可決されました。  
各議案に対する賛否一覧を8ページに掲載しています。

(万円未満四捨五入)

# まちの主な仕事



- ・包括業務委託料 ..... 2億4796万
- ・町債の償還 ..... 9億3451万
- ・特別会計等への繰出金 ..... 7億 202万



- ・篠栗中学校・篠栗北中学校教室木質化工事 ..... 3653万



- ・指定管理委託料 ..... 1億 930万
- ・予防事業委託料 ..... 8604万



- ・町営林保全事業 ..... 7571万
- ・尾仲乙犬水路対策 ..... 6900万
- ・防火水槽整備費 ..... 1425万

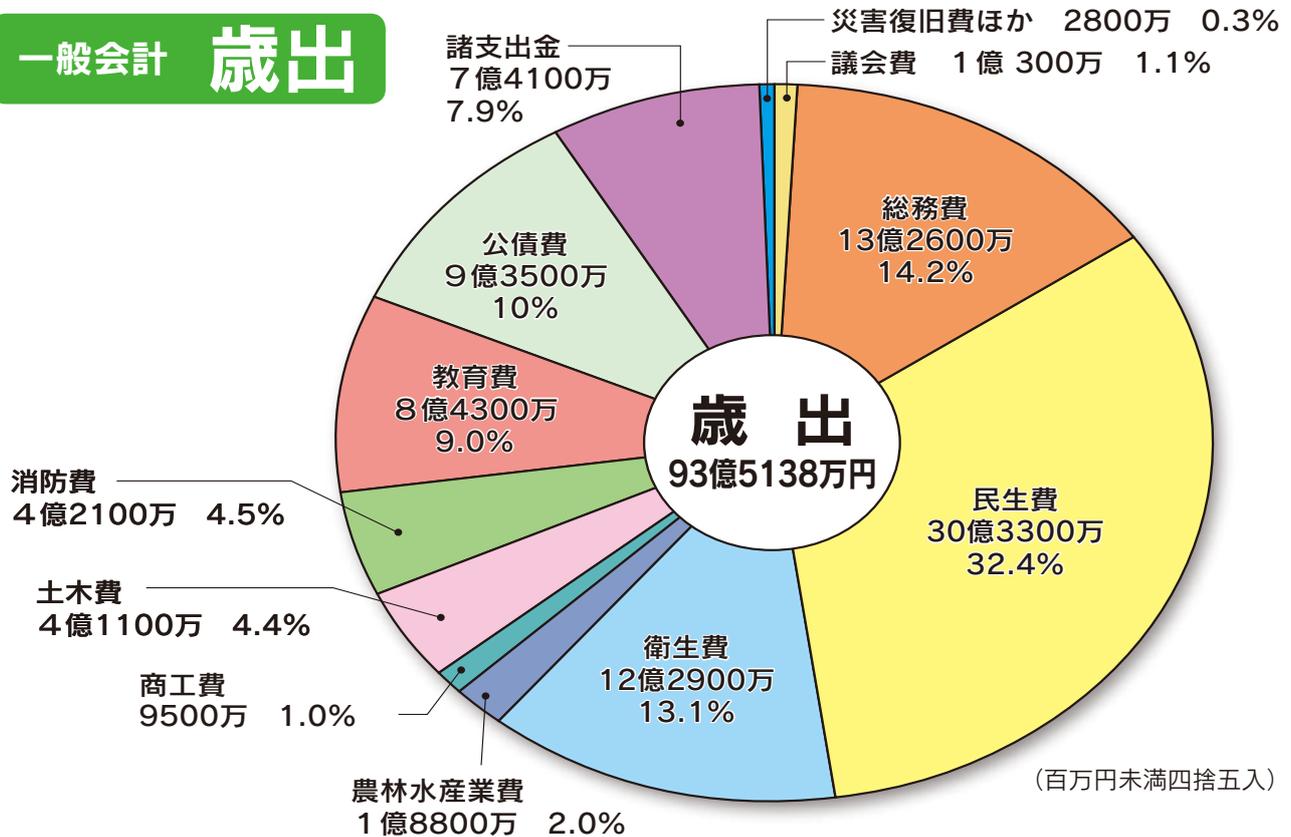


- ・自立支援サービス給付 ..... 4億2077万
- ・保育所運営委託料 ..... 6億3057万

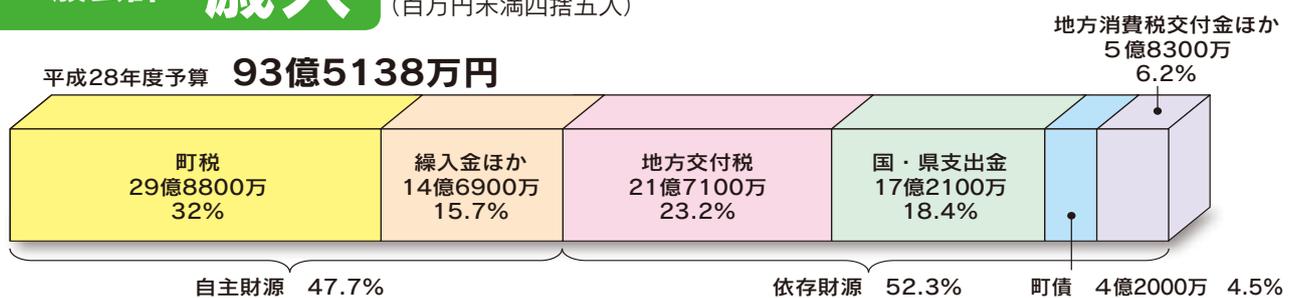
町のお金は  
こう使います

# 93億5

## 一般会計 歳出



## 一般会計 歳入



## 特別会計予算

(百万円未満四捨五入)

会 計	28年度予算	対前年度増減	
国民健康保険会計	37億4900万	7600万	
後期高齢者医療会計	3億9000万	△ 800万	
流域関連公共 下水道事業会計	収益的支出	7億9300万	200万
	資本的支出	4億5400万	1600万
水道事業会計	収益的支出	5億 600万	△ 500万
	資本的支出	1億4300万	△3700万
篠栗北地区産業団地整備事業会計	7900万	※28年度創設	
合 計	61億1400万	1億2300万	

# 主な条例の制定

**篠栗町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の改正**

改正の主な内容は、「乳幼児・子ども医療費」を「子ども医療費」に改め、現在施行の小学生の入院補助を中学生までに拡大。

通院においては現在施行している就学前までの補助を小学生までに拡大する。  
自己負担上限額を入院の場合  
105,000円  
(但し、35,000円/月を限度とする)。  
通院の場合は、  
3歳〜就学前 8,000円/月  
小学生 12,000円/月  
を限度とする。  
(平成28年10月1日から施行)

**温暖化対策計画策定協議会を設置**

**篠栗町地球温暖化対策実行計画策定協議会設置条例**

篠栗町地球温暖化対策実行計画の策定にあたって、幅広い住民等から意見を聴取し、計画に反映させる協議会を設置する。学識経験者、環境関係団体推薦の者、住民代表者で構成し、定員は12名以内。

**問**

環境関係団体とは、どのような団体か。

**答**

福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、福岡県地球温暖化防止活動推進員などの団体を想定している。

**不服審査関係規定を整備**

**行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例**

行政不服審査法の施行に伴い、行政処分等に対する不服申し立て制度に関して、関係規定の整備を行う。改正行政不服審査法では、公平性・利便性向上のため、

- ①「不服申し立て」を「不服審査」に一元化
  - ②審理員制度の導入
  - ③第3者機関への諮問手続きの新設
  - ④審査請求期間を3箇月に延長
- 等が規定されている。

**人事・選挙案件**

**固定資産評価員の選任**  
前評価委員である藤和義氏の辞任により選任された。

城戸 清壽氏(津波黒区)

**選挙管理委員及び補充員の選挙**  
任期切れに伴う選挙管理委員及び補充員の選出を議会で決定。

- 委員等は次のとおり。
- 選挙管理委員**
- 栗須 幸夫氏(田中区)
  - 井上 桂悟氏(尾仲区)
  - 石川 忠弘氏(大勢門区)
  - 大久保 信也氏(上町区)

- 補充員**
- 高橋 研一氏(津波黒区)
  - 松尾 義明氏(萩尾区)
  - 芳野 忠氏(尾仲区)
  - 藤 佳光氏(山手区)

**文教厚生常任委員会**

2月25日  
平成27年度  
第2回学校教育連絡協議会

クリエイト篠栗大会議室において、文教厚生委員・教育関係者・PTA・校区づくり関係者が集い、篠栗町の各小中学校から「篠栗町学校教育プラン」に基づく教育活動の成果と次年度に向けた改善点の報告があり、県教育事務所、秋永晃生主幹指導主事から指導・助言が行われた。



一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。  
 国保特別会計は、主に退職被保険者療養給付金・共同事業拠出金の減額補正。  
 後期高齢者医療特別会計は、主に保険料の確定に伴う負担金の減額補正。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満四捨五入)

地方消費税交付金	1億3323万
臨時福祉給付事業費補助金	9140万
都市計画事業債	△6950万

(表2) 歳出の主なもの

情報システム管理費	7189万
臨時福祉給付金費	8814万
諸支出金（国民健康保険特別会計赤字補てん繰出金ほか）	1億3718万

各会計補正予算額

会 計	補 正 額	補正後予算額
一般会計	2億3597万	100億2965万
国民健康保険特別会計	△6929万	38億 977万
後期高齢者医療特別会計	△4884万	3億5564万

人事院の給与改定に関する勧告により、国に準じた措置を講じるための条例改正を行うもの。

**篠栗町一般職の職員の給与に関する条例及び篠栗町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正**

一般職級の給料月額平均0.36%、勤勉手当0.1月分を引き上げる。

**篠栗町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部の改正**

議員の期末手当を0.05月分引き上げる。

(平成27年4月1日に遡って適用)

各会計の歳入・歳出の補正は人事院勧告による人件費に伴うもの。

各会計補正予算額

(万円未満四捨五入)

会 計	補 正 額	補正後予算額
一般会計	1351万	97億9368万
国民健康保険特別会計	43万	38億7905万
後期高齢者医療特別会計	28万	4億 449万
流域関連公共下水道事業会計 (収益的収入・支出)	13万	7億9012万
公共水道事業会計（収益的収入・支出）	7万	5億1457万



1月19日 宮崎県都農町  
 1月28日 宮崎県新富町  
 2月2日 熊本県水俣市  
 2月10日 長崎県長与町

議会視察受け入れ  
 (タブレット会議システム)

## 議決結果一覧表

	議案番号	議 案 名	議 決 結 果
2月19日臨時会	1	専決処分の承認を求めること（専決第8号） 〔篠栗町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定〕	全員賛成承認
	2	篠栗町一般職の職員の給与に関する条例及び篠栗町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	3	篠栗町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	4	平成27年度篠栗町一般会計補正予算（第5号）	全員賛成可決
	5	平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	全員賛成可決
	6	平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
	7	平成27年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
	8	平成27年度篠栗町水道事業会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
3月定例会	9	篠栗町固定資産評価員の選任	全員賛成同意
	10	職員の退職管理に関する条例の制定	全員賛成可決
	11	篠栗町地球温暖化対策実行計画策定協議会設置条例の制定	全員賛成可決
	12	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	全員賛成可決
	13	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成可決
	14	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	15	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	16	篠栗町債権管理条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	17	篠栗町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	18	篠栗町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	19	平成27年度篠栗町一般会計補正予算（第6号）	全員賛成可決
	20	平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	全員賛成可決
	21	平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）	全員賛成可決
	22	平成28年度篠栗町一般会計予算	全員賛成可決
	23	平成28年度篠栗町国民健康保険特別会計予算	全員賛成可決
	24	平成28年度篠栗町後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成可決
	25	平成28年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計予算	全員賛成可決
	26	平成28年度篠栗町水道事業会計予算	全員賛成可決
	27	平成28年度篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計予算	全員賛成可決
	選挙1	選挙管理委員及び補充員の選挙	指名推薦により P6のとおり決定
発議1	篠栗町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	全員賛成可決	
発議2	篠栗町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定	全員賛成可決	

1. 田辺 弘之 議員	10
・ 町の「がん対策加速化プラン」の取組みは	
2. 栗須 信治 議員	11
・ 町の認知症対策は	
3. 古屋 宏治 議員	12
・ 総合学習教育で歴史文化を伝える郷土愛を	
4. 荒牧 泰範 議員	13
・ 合併は過去の話なのか	
5. 村瀬 敬太郎 議員	14
・ 防災関係組織、今後の展開は	
6. 松田 國守 議員	15
・ 地方創生における交通事情を問う	
・ 町道和田線の安全策と渋滞緩和策としての迂回路を	
7. 大楠 英志 議員	16
・ 地域の要望に沿ったオアシスバス運行の見直しを	
8. 横山 久義 議員	17
・ 水道事業会計の改善策は	

# ！？

## 8人が一般質問

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民館および町ホームページで閲覧できます。

# 町の「がん対策加速化プラン」の取組みは

町長「検診にシフトするような啓蒙が必要」



田辺 弘之

**問** 篠栗町では、毎年、病気で亡くなられた方の30%以上ががんであり、2013年には87名である。  
胃がんの8割の原因がピロリ菌であり、内視鏡で慢性胃炎と診断された場合、ピロリ菌の除菌治療が保険適用となっている。

**①** 町が行っているがんの検診について、目標とする受診率及び現状は。  
**②** 平成21年から25年までの5年間のがん検診受診率の推移から考察されることは。

**答【健康課長】**  
① 国の「がん対策加速化プラン」の目標受診率は50%であるが、それまでに至っていない。  
② 肺がん・大腸がん検診は徐々に上がってきているが、その他のがん検診は横ばい又は下がっている。

**問** ③ 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの検診費用は、④ がんにかかった場合の負担費用は。

**答【健康課長】**  
③ 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの検診費用は、④ がんにかかった場合の負担費用は。

**③** 集団検診では胃がん 4114円  
肺がん 720円  
大腸がん 1543円  
子宮頸がん 3600円  
乳がん視触診プラスマンモ2方向 8228円  
マンモ1方向 6172円  
**④** 厚生労働省の医療給付実態調査の統計では53万から71万円となっている。

**問** ⑤ 昨年実施された胃がんリスク検診（※ABC検査）の受診率及び現状は。  
**答【健康課長】** ⑤ 募集人数は200名で84名が受診。そのうち28名に医療機関での精密検査を勧めた。

**⑥** 今後、町としてどのようながん対策を加速していくのか。  
**答【健康課長】** ⑥ 新たに文化祭での啓発や健診フェスタでの参加推進に取り組んでいく。

**問** ⑦ 検診の受診率が福岡県下でも低いという話があったが、町内には総合病院が三つあり、検診の前に普段から病院にかかっている方も多い。病院ではいろいろな費用がかかることも合わせて、町として検診にシフトするような啓蒙が必要と考える。

※ABC検査とは  
胃がんリスク検診のことで、2種類の血液検査を組み合わせて胃がんをはじめとする胃の病気のなりやすさを分類（胃の健康度（A～D群））する検査のこと。



栗須 信治

## 町の認知症対策は

町長「重要な取り組みになると考えている」  
福祉課長「安心して地域で暮らせるよう取  
り組んでいる」

問

認知症高齢者の数は2012年で約462万人、予備軍も含めると65歳以上の高齢者の約4人に1人と  
いわれている。

この事態に国は、「新オレンジプラン」を発表し、認知症の人や介護する家族の視点が重視され、地域のサポート強化をうたっている。  
そこで本町において、認知症の問題をどう認識し、①発生予防②ケア対策③徘徊問題など、どのような具体策を講じていく考えであるか尋ねる。

答【福祉課長】

町の高齢化率は、毎年約1%程度上昇しており、認知症高齢者の増加は避けられない状況である。公開講座や健康教室の開催、介護予防教室の普及などで啓発活動を推進している。

①27年度から予防を目的とした「脳若トレーニング」を実施しており、28年度は回数を増やす。また、介護予防教室では運動プログラムと併用し、脳活性化を図る認知機能向上プログラムを実施している。  
②発症者のケア対策は、本人や家族の相談を受け、必要に応じて専門機関を紹介するとともに、進行を抑えるため介護教室の案内や地域での見守りなどを行い、多職種連携で取り組んで

いる。

③早期発見をおこなうために、「福岡都市圏徘徊高齢者探してメール」への登録等を推進しており、県の防災メールにも捜索の協力を仰いでいる。また、年に一度の警察との協議会で、徘徊対策会議も実施されている。

問

現在の認知症サポーターの数と増員策は。

答【福祉課長】

現在のサポーター数は355名。毎年3回程度、サポーター養成講座を開くとともに、啓発活動を推進する。

問

※認知症カフェの設置予定は。

答【福祉課長】

設置の予定はないが、社会福祉協議会がそのような場所をと考えている。町でも区にお願いし、高齢者が集える場所としての公民館の開設を進めたい。

問

早期発見・予防のため、認知症健診機器の導入を検討しては。

答【福祉課長】

診断・指示・医療機関連携まで行うことが大事になる。機器の導入は認知症の重度化予防となるので、そこも含めて検討できればと思う。

※認知症カフェとは  
認知症本人やその家族が、地域の人や、専門家と気軽に集い、介護の悩みを語りあったりアドバイスを受けることのできる場。

# 総合学習教育で歴史文化を伝える郷土愛を

教育長「郷土愛を育む教育を進めて行く」



古屋 宏治

問

篠栗町には、先人たちの努力や工夫により築かれた数多くの歴史、伝統文化がある。教育目標にも「篠栗の自然、文化と伝統を愛し関わりを深めながら、可能性を追求する心豊かなたくましい子どもの育成」とあるが、総合学習の中でどのような教材や指導で歴史文化の授業をされているか。

答【教育長】

町の歴史や伝統文化を学び、郷土愛を育むことは、篠栗町学校教育

育プランが目指している「篠栗町に愛着を感じる子ども」そのものである。

総合的な学習で、題材名「We Love ささぐり」「篠栗大発見」等々に取り組み、森林セラピー、米作り体験、新四国霊場の開場に尽力した慈忍さんや藤木藤助さんの思いや願いの追求、また清掃活動を通し環境保全の体験活動などを指導している。

問

子どもたちの郷土愛を育むとともに、社会性や勤労観を養い、篠栗町に貢献できる人材の育成に努めている。

これから30年後、40年後の町を担っていく子どもたちに、この町に溶け込み未来像を描いてもらえれば、人口流出阻止、定住促進に

繋がり伝統文化が受け継がれ、郷土愛が町を育てていく。もっと町の歴史や文化に興味を持つため、フューチャースクールを取り入れてはどうか。

文科科学省の調査で、ICT（情報通信技術）活用した教員の98%が関心・意欲・態度の観点において効果を認め、学習に対する積極性や意欲、学習の達成感などICTを活用した授業の方が評価が高いとある。ぜひ、ICTを取り入れた授業をしていただきたい。

答【教育長】

先般、萩尾分校でタブレットを活用した授業を行った。予算の面もあるが、今後、積極的に取り組んでいきたい。これからの社会に生きるうえで多様な情報を収集し、活かして

いくことは、必要な能力である。今後ICTを活用した授業づくりやその環境づくりを進めたい。

要望

歴史文化の本をDVD化し、家庭に持ち帰れば親も町の歴史文化を再発見できるのではないだろうか。



藤木藤助像



荒牧 泰範

## 合併は過去の話なのか

町長「私から積極的に外に向けての発信は無い」

問……………

平成の大合併が全国各地で行われたが、結果はあまり芳しくないというところばかりが目立つ。

しかし今のわが町に合併の必要が無いのかとは違う次元の話で、地方主権時代に突入し各自治体の運営責任が益々大きくなる中、アジアの玄関口としても、なお一層大きな役割を果たさなければならぬ福岡県の自治体として、ある一定の規模の財政力や人材力などが必要と思われる。

わが町の昨年度まで

の過去10年間の人口の伸びはほぼ横這いで、町長も将来の町の人口を2万9千人と推定されており、これから先は期待できない。

また、昨年10月に行われた粕屋町長選挙では、公園建設などの住環境整備と町単独で行くことをうたった候補者に対し、企業誘致による産業発展と合併を視野に入れた候補者が当選されている。

このような時代や環境の変化と隣接町の思いの中、篠栗町長として合併は過去の話なのか、それとも別な考えがあるのか尋ねる。

答【町長】

平成19年の糟屋6町合併は粕屋町と久山町の承認が得られなかった。

粕屋町長の10万人規模の市制を目指すという発言に、現時点で握手して行こうと言う気持ちは毛頭ない。その意味で平成19年の取組みは過去のもの。

今回策定の創生総合戦略と人口ビジョンで、2060年の人口目標を2万9千人とし、達成に向け奮闘している。

合併は将来的には無いとは言いが切れないが、篠栗町らしさを確立することが先ずもって重要と考える。そうした中でいつまでも住み続けたい町、いつでも訪ねたい町となるよう努力する。

ただ、時の時勢と言うものがある。日本全体や都市圏・糟屋郡で

時に起ることもある。

そのような時勢を感じ取ることも一方で大変大事な要素である。

その際は方向性を探ることになるが、現在のところ私から積極的に合併の発信をするとは無い。

現在の総合計画は3万2800人の計画で多少遅れているが守りたい。

# 防災関係組織、今後の展開は

町長「自助・近助の浸透、消防団・自主防の活性化を支援する」



村瀬 敬太郎

問……………

団員確保や組織編成上の課題など、相応の対応が必要と思う。現在の班の体制が維持できる形で分団を改編できないか。

答【総務課長】

行政区長には団員募集に多大なる支援を頂いている。人員不足の深刻化を危惧しており、地域あるいは昼夜に格差が出ないよう支援する。

答【町長】

具体的には、萩尾班は1分団1班で、分団長、班長を出すところ、一般団員は少なく、なおかつ萩尾区在住の方がほとんど居らず、厳しい状況だ。  
また、大勢門班は、地元を対象となる年齢の方が居らず、役場職員の町外在住者を班員

問……………

各班の活動は重視しており、地元とも協議しながら分団・班の問題を考えた。

問……………

篠栗町要援護者支援制度では、社会福祉協議会、避難支援者、自主防災組織、民生委員、福祉協力員が、高齢者や障がい者の避難支援、安否確認を行うことになっている。要援護者も含めた総合訓練を行うてはどうか。

答【総務課長】

住民の活動が見えにくい総合訓練より、自主防災組織を中心とする共助力向上を目的とする訓練・研修が効果的と考える。

問……………

自主防災組織には自立が可能な技術水準になるまで支援が必要ではないか。

答【総務課長】

各自自主防災組織には、組織編成の資料や資機材を配布している。今後、自主防災組織連絡協議会の設立に合わせ、防災リーダー育成講座の開設等を検討する。

問……………

田中区では、福岡県の消防団員対象の自主防災組織指導員養成講座や消防団OB・防災士等スキルアップ研修会に参加され、人材育成が行われている。

答【町長】

多くの方にこのような機会を持っていただけるよう支援をいただきたい。  
田中区は大変防災意識が高い地域である。それぞれの区で同様の組織を作るには、区の協力が必要になる。「近助」の意識、自主防災の活性化を支援し、また、要請をしていきたい。



松田 國守

## 地方創生における交通事情を問う

まちづくり課長「交通量調査の結果で総合的に検討する」

【問】

篠栗北地区産業団地開発事業による地域における雇用の創出の取り組みが進められている。

その企業誘致で新規雇用目標値は250人と設定されており、従業員の車両や物品の搬入の貨物車は、県道547号の猪野・篠栗線を利用すると考えられる。その路線の要が国道201号線の篠栗北交差点であり、朝夕の渋滞がこれから更に深刻化するのはいまからである。その渋滞緩和策は。

【答】まちづくり課長

篠栗北交差点を中心とした、交通体系にどのような影響を及ぼすかを把握するために、篠栗北交差点と二トリや西鉄ストア倉庫からの三叉路付近において、交通量調査を実施している。近日中には最終報告書が示されるので、報告内容と進出企業の希望等を鑑み、対策を総合的に検討する。

## 町道和田線の安全策と

### 渋滞緩和策としての迂回路を

都市整備課長「歩行者の安全確保を図り、継続して提言や要望をしていく」

【問】

和田区の北側に、鉄鋼団地及び原工業団地がある。これらの企業の従業員の車両等で、町道和田線は和田交差点を中心に朝夕の渋滞が増しに増えている。

また原工業団地には大型物流倉庫等の建設が急速に進んでおり、町道和田線は大型貨物車の往来が徐々に多くなってきた。このまま推移すると近隣住民の安全性が損なわれ、学童の登下校時の危険度も上がる。大型車両の進入制限等の規制はできないものか尋ねる。

【答】都市整備課長

提案の交通規制等は、本路線の性質上困難である。現時点では沿線住民の協力を仰ぎながら、道路の幅員の拡幅、舗装の仕直し等の局部的な改良により、歩行者の安全確保を図りたい。

【問】

以前、九大演習林を津波黒方面から久山に横断する、通称「カンカン越え」という道があったと聞く。それらを活用して、201号線から久山に抜ける迂回路は考えられないか。

【答】都市整備課長

これまで、粕屋地域の道路建設促進期成会等で道路整備計画の促進に関する提言を原にして来た。今後も継続して要望していく。

【答】町長

県としては筑紫野古賀線の2車線化工事を最優先している。それが終わった段階で次の展開として迂回路等の協議をしようとの県の答弁をいただいた経緯がある。

# 地域の要望に沿ったオアシスバス運行の見直しを

健康課長「意見を集約し検討を進める」



大楠 英志

してある。

**問**

城戸区・山王区からオアシスバスの増便、時間変更等の見直しや、バス乗り入れの要望が出されている。

中山間地区においては、高齢化が進み病院、買い物等への交通手段がなく困つてある。

城戸区の検討案として現状の時間帯では不便であり、朝のオアシス号増便、西鉄通学バスを郷の原地区までの延長、もしくはオアシス号に切り替え、通学児童と住民がオアシス号に相乗り利用を提案

山王区においては、

国道から荒田地区まで約4kmの町道沿いに民家が点在している。この地区は、以前から高齢者の移動手段の確保が困難と訴えてある。また、森林セラピーに訪れる方からもバス運行の要望があつている。

北勢門地区においては満席で利用できないこともあると聞いている。

バス利用者の意見や要望を調査して、地域の要望に沿ったオアシスバス運行の見直しを求める。

**答【健康課長】**

オアシスバスは町内4コースを、2台のバスで午前9時から午後6時過ぎまで運行している。定期便として運行しているので要望には対応できていない現

状である。

ご指摘の町民の意見や要望の調査は実施していないが解決策を指定管理者・バス会社と協議を進めている。九州運輸局の許可を得て運転している関係上、時間やコースの変更については、すぐにはできず今後、関係機関との意見を集約し検討を進める。

**問**

町内の病院で患者や見舞いの方のために送迎バスを運行しており、財政が厳しい中、民間と協力し、運行の時間帯やコースなど具体的な話がまとまれば対応は出来るのではないかなど、協議を重ね課題解決の一助にしてはと考えるが、見解を尋ねる。

**答【町長】**

解決策は台数を増やすことだが、一台増で1000万円弱の予算増加となる。送迎されている病院と具体的な話をしていきたい。



オアシスバス



横山 久義

# 水道事業会計の改善策は

町長「産業団地開発では水道水を使用する企業を誘致し売上アップを図る」

問.....

ある水道企業団による違法取水が大きく報道された。その背景には厳しい水道事業の実情がある。本町に違法取水はないが、その運営には憂慮すべきものがある。

水道会計が厳しい状況にあるのは人口が増えないことや節水意識の向上により水の需要が伸びないこと、自己水源より割高な福岡地区水道企業団の水を優先しなければならぬことが主な原因である。これらを踏まえて次

の質問を行う。

①現在の自己水源と企業団からの一日最大可能供給量は。

②平成26年度の有取水量中企業団からの水が占める割合は54.21%であり、自己水源の浄水場分はかなり余裕があると思うが、稼働状況を問う。

【答】上下水道課長】

①自己水源は第一、第二浄水場合せて一日最大8400m<sup>3</sup>、企業団からの受水は4400m<sup>3</sup>。  
②自己水源の使用は率にして約38%。

問.....

水道会計の改善策を問う。

①水道料金は使用料が大きいほどm<sup>3</sup>当たりの金額が大きくなるため、大口利用を見出せば大きな改善となる。

現在進められている九大演習林跡地の造成計画で誘致する企業は食品会社であり、多くの水が必要とすることから水道会計としてはビッグチャンスと思う。企業グループを特定する際、水道水使用を条件付けしているのか。

②鳴淵ダムは企業団にとっても貴重な水がめであり、本来なら交付金が毎年1億円程度企業団から入ってきてもおかしくない。しかし、政令でダムから取水してい

る企業団にダム所在地の自治体加わっている場合、交付金はもらえない。そこで、国に政令の変更等を強く働きかけ、交付金を受け取れるよう努力されている。

【答】町長】

①演習林跡地は篠栗北地区産業団地として開発準備を進めている。この開発は当初



から水道水を使う企業の誘致を考えている。

②国の政令を変更し、交付金を何らかの形で受け取れるようにすることは、正直なところそこまで思いが至らなかった。詳細を勉強し、五ヶ山ダムを有する那珂川町と連携し、交付金獲得に向け国に働きかけが出来ればと思っている。

# 輝くまちの宝

## 萩尾分校 入学式



## 町立幼稚園 入園式



### 旬花衆灯

「物事には、あるべき姿と言うものがあります。逸脱すると様々な問題が起きてくる。」とは、経済学者の榊原英資氏のことば。

日本の、篠栗の、議員の、町民の等々、それぞれに「あるべき姿」があると思います。当委員会では、今回から町内で活躍される皆様と意見交換会を行うことになりました。

第一回は、商工会青年部にお願いし、若手経営者たちと濃密な時間を過ごしました。わが町の今、わが町の将来、「あるべき姿」を探りたい。

村瀬 敬太郎

### 6月議会は

6/9(木)開会

6/13(月)一般質問

の予定です

発行責任者 議長 阿部 寛治

議会広報広聴委員会 委員長 今長谷 武和 / 副委員長 田辺 弘之  
委員 松田 國守・村瀬 敬太郎・栗須 信治・古屋 宏治

平成28年5月1日発行

発行 / 篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷 / 株式会社三光